

を図ろうとした点で異色の改革であったとする肯定的な評価とがある。(横山悦生)

〔文献〕1) 原 正敏：旧制中学における作業科—その技術教育的側面—。科学史研究，第66号，1963。；2) 横山悦生：戦前の中学校における作業科。技術教育学研究，第3号，1986。

#### 作業科 *Sagyo-ka* (vocational training course)

旧学制における中学校の教育が上級学校受験を旨とせず学科目に偏しているとされ、これを是正し、教育内容の実際化を図るために1931年に中学校令施行規則改正により創設された教科。全学年にわたる必修教科で、「作業ニ依り勤勞ヲ尚ビ之ヲ愛好スルノ習慣ヲ養ヒ日常生活上有用ナル知能ヲ得シムル」ことを要旨とし、「園芸、工作、其ノ他ノ作業」を課すとされた。5年間の猶予期間を経て1936年から全面実施されたが、おりからの準戦時体制に向けて強化された勤勞動員体制に埋没して存在感が薄くなり、1943年の中等学校令により中学校の学科目構成が「教科及修練」となると、作業科はなくなった。短命であったこの教科については、勤勞愛好精神の涵養の名による「思想善導」を旨としたとする評価があるほか、中等教育の大衆化と教育内容の実際化